

白バラよこはま

No.51

令和4年1月発行



横浜市明るい選挙推進協議会

横浜市中区本町 6-50-10

TEL 045-671-3337

FAX 045-681-6479

【金沢区】せんきょフォーラム



【旭区】ラッピングカー



【鶴見区】J-R鶴見駅東口フロア広告



【神奈川區】参加者間1.5m間隔をとり実施したせんきょフォーラム



【中区】ホッチポッチミュージックフェスティバル



【磯子区】手指消毒用アルコールボトル設置の様子



【港北区】ラッピングカー



【港南区】せんきょフォーラムの様子



明るい選挙推進協議会推進委員・推進員の心得

～活動をしていく上での諸注意・お願い～

明るい選挙推進運動の目的は、選挙が公正に行われ、選挙を私たち国民の意思が正しく政治に反映させるものにし、民主主義の健全な発展を達成することです。

ここでは、明るい選挙推進運動を担う推進委員、推進員の皆様が活動をしていく上で注意すべき事例について紹介します。

明るい選挙推進運動は、選挙を浄化するために始まった一つの政治教育運動です。

したがって、特定の政党、政策、候補者を支持したり、逆にそれらに反対したりする政治活動や選挙運動とは、はっきり区別されなければなりません。

次のような例はよく聞かれる質問です。

Q：特定の候補者の選挙運動員をしながら、その選挙の街頭啓発「ザ・イコット」に参加してもよいですか。

A：好ましくありません。明るい選挙推進運動は公平な第三者の立場で行う運動です。特定の候補者のための選挙運動をしながら、その選挙時の啓発活動に参加することは差し控えましょう。

Q：某候補は、明るい選挙推進運動の趣旨を理解し、これに沿った選挙運動をしている人格者。明るい選挙推進員を続けながら、このような候補者がいることをこの候補者の推薦人になって知らせたいのですが。

A：明るい選挙推進員としての活動は、公正かつ不偏不党でなければなりません。どんなに高潔な方であっても特定の候補者の推薦人になることは避けましょう。

次の活動についても、積極的に実施していただくようお願いします。

- 期日前投票所や当日投票所の投票立会人等への従事
- 自治会・町内会における投票制度に関する広報、アドバイス

これらの活動には、「明るい選挙推進のためのハンドブック」を御活用ください。



目次

推進委員・推進員の心得	2
各区令和2年度の事業	3～20
横浜市令和2年度の事業	21
横浜市長選挙の啓発事業実績	22～23
横浜市長選挙の区別・年代別投票率	24～25
寄付禁止（三ない運動）	26
各選挙における投票率の推移	27

鶴見区

鶴見区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現を目指し、各種啓発事業を実施しています。また、若年層に向けた、選挙・政治に対する意識向上が求められていることから、若い世代に向けた選挙啓発にも力を入れています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から中止となった啓発活動もありましたが、そのような状況下においても「今できること」を考えて、小中学生に向けた「標語コンクール」の実施、選挙啓発物品の配付等により、将来の有権者に向けて、選挙権を行使することの大切さに気付くきっかけを与える活動を実施しました。

今後も引き続き、選挙への関心が高まるような啓発活動を行ってまいります。



▲ JR 鶴見駅東西自由通路前展示



▲ 標語コンクール参加賞のマスク



▲ 標語コンクール参加促進物品（うちわ）

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和2年 6月	推進委員総会 (書面開催)	令和元年度の事業・決算報告及び、 令和2年度の事業計画を審議した。	
11月～ 令和3年 2月	鶴見区明るい選挙 標語コンクール	小中学生を対象に冬休み期間を利用して 選挙に関する標語のコンクールを実施し、 参加賞としてマスクを配付した。 最優秀賞 「その一票 未来を変える 出発点」	応募総数： 294点
通年	啓発用グッズ・ チラシの作成	標語コンクール参加促進のため、区内市 立小中学校生徒に対し、啓発物品を作成・ 配付した。また、令和2年度で任期満了と なる明るい選挙推進員に対して啓発チラシ 及びマスクを配付した。	
	イコットNEWS 発行	協議会の機関紙として、実施事業の広報 や選挙関連情報を中心に掲載、発行した。	発行回数： 3回
	投票器材の貸出	区内の中学校・高校に投票器材を貸し出 し、将来の有権者への動機づけを図った。	貸出学校 数：7校

●横浜市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
区内世帯へのチラシの配布	区内世帯に対して選挙期日の周知及び 期日前投票利用を呼び掛けるチラシを 新聞折込みにて配布した。	
JR鶴見駅での展示啓発	JR鶴見駅東西自由通路前展示ス ペースにて、選挙啓発マスコット等の展示を 行った。	
JR鶴見駅での広告による 啓発	JR鶴見駅東口改札前にフロア広告を 設置した。	
市営バス車内広告による啓 発	市営バス車内にて選挙期日を記載した 広告を設置した。	
広報よこはま鶴見区版への 掲載	広報よこはま8月号にて選挙期日の周知 を行い、期日前投票の利用を呼び掛け る広告を掲載した。	
啓発物品の配布	区内商業施設(イトーヨーカドー鶴見店) に選挙啓発用リーフレット及び選挙期日 を周知するティッシュを配架した。	
区役所内での連携啓発	戸籍課の広告モニターにて選挙期日の 掲出を行うとともに窓口にティッシュを 配架した。また、各階に選挙期日を周 知するポスターを掲出した。	
啓発横断幕の設置	鶴見中央コミュニティハウス(期日前投 票所)に期日前投票を促す横断幕を設 置した。	
SNSによる啓発	SNSにて、投票期日及び期日前投票 の利用促進を周知した。	

神奈川県

神奈川県では、コロナ禍の状況においても様々な啓発活動に励みました。

区民啓発事業では、乳幼児健診で保護者に向けてウェットティッシュを配布しました。

また、区民向けにマスクケース、エコバック等の啓発物品を作製し、子ども会や老人会等で推進員の皆様より配布いただきました。

若年層啓発事業では、区内小中学校、高等学校にて選挙の出前授業をしました。

特に小学校高学年については、学校生活の身近なテーマでの候補者演説、投開票を通して、一票の大切さを実感してもらいました。実施にあたっては、席の間隔を取って聴講する等の感染対策を図りました。

今後も推進委員、推進員の皆様と協力し、より充実した推進活動を実施してまいります。



▲ JR東神奈川駅改札口に設置した市長選挙啓発用横断幕

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和2年10月	神奈川中学校にて職業体験を実施	投開票の方法や仕組みを説明し、模擬投・開票を実施した。	参加人数：9名
11月	神奈川県立城郷高等学校にて出前授業を実施	神奈川県選挙管理委員会と合同で「若年層有権者の低投票率と影響」をテーマに講義し、模擬投票を実施した。	参加人数：約320名
令和3年2月	私立浅野学園高等学校にて出前授業を実施	「政治活動と選挙運動」をテーマに講義を実施した。	参加人数：約270名
1～2月	区内小学校にてせんぎょフォーラムを実施	区内小学校の児童を対象に選挙の仕組みを説明し、学校生活に関連するテーマで模擬投票を実施した。	参加人数：計412名(全6校)
9、3月	イコット通信の発行	年2回、協議会の活動や投票制度に関するお知らせを発行した。	対象者数：約200名
通年	乳幼児健診にて啓発物品を配布	乳幼児の保護者に向けてウェットティッシュを配布した。	配布数：約3,000個
通年	選挙器材の貸出し	将来の有権者の関心を高めるため、区内中学校・高等学校へ器材を貸し出した。	対象校数：中学校6校 高等学校2校
通年	啓発物品の作製・配布	啓発物品(マスクケース・エコバック・ボールペン)を作製・配布した。	配布数：1,455個



▲ 浅野学園高等学校での講義

●横浜市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
こども家庭支援課との連携啓発	こども家庭支援課で行う乳幼児健診等において、ハンカチを配布した。	対象者数：450名
啓発横断幕の設置	JR東神奈川駅改札前に選挙啓発横断幕を設置した。	
区内保育所等施設及び神奈川県地域子育て支援拠点かなーちえにて啓発物品を配布	区内保育所等施設及び神奈川県地域子育て支援拠点かなーちえにて絆創膏を配布した。	対象者数：3,000名
広報よこはま6月号へトピックスを掲載	広報よこはま6月号のトピックス欄に、選挙の豆知識を掲載した。	
区内地区センターにて啓発物品を配架	区内地区センターにてボールペンを配架した。	対象者数：3,000名

西 区

西区では、明るくきれいな選挙の実現と投票率向上のため各種啓発事業を実施しています。

12月には、第14回ハマのウォーキングフェスティバル（地域振興課主催）がありました。投票率向上を目指し、選挙啓発のキャッチフレーズを印字したネックストラップを作成し、参加者全員に配布しました。

2～3月には区内小・中学校で「せんきょフォーラム」を開催しました。小学校では模擬投票を、中学校では講義をそれぞれ実施し、選挙への理解を深めて頂きました。

3月には、選挙啓発用リーフレットを作成・配布しました。

今後も推進委員・推進員の皆様と連携し効果的な啓発活動に取り組みます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和2年 5月	定例会	前年度の事業実績、決算の報告、予算の審議。	書面開催
12月	ハマのウォーキングフェスティバル	参加者に配布するネックストラップに啓発キャッチフレーズを印字して提供。	参加人数：約670名
令和3年 2～3月	せんきょフォーラム	模擬投票や講義を通じて、投票に対する関心を高めることを目的に開催。 (戸部小学校・老松中学校)	参加人数 戸部小：約70名 老松中：約10名
通年	学校での生徒会選挙等の実践啓発	記載台や投票箱等の貸し出し。	
	明推協だより	推進委員・推進員向け機関紙の発行。	
	啓発物品の作成・配布	啓発物品（選挙啓発用リーフレット・除菌ウェットティッシュ等）を作成。各課窓口にて配布。	

▼ 戸部小学校でのせんきょフォーラムの様子



▲ 相鉄線ドアステッカー（横浜市長選挙啓発用）



●横浜市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
広報よこはま西区版による啓発	当日投票、期日前投票、不在者投票等選挙に関する情報を幅広く掲載。	
相鉄線車内広告による啓発	相鉄線車内にて、各区の期日前投票所等を記載したステッカー及びポスターを掲出。	※西区、保土ケ谷区、旭区、泉区、瀬谷区連携事業
タウンニュース中区・西区版による啓発	タウンニュース（選挙期日や中区・西区の期日前投票所等を記載した広告）を新聞へ折り込み配布。	※西区、中区連携事業
ラッピング啓発自動車による啓発	選挙期日や期日前投票所等を記載したラッピング電気自動車で、区内の様々なエリアを走行。	

中 区

中区明るい選挙推進協議会では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、工夫を凝らしながら常時啓発事業を実施し、投票率の向上を目指しました。

令和2年度は、毎年参加していたイベントが中止になる等、例年通りの啓発活動はできませんでしたが、横浜公園で開催されたホッチポッチミュージックフェスティバルに初参加し、感染症対策を行いながらの模擬投票を実施する等、啓発方法を探りながら、新たな活動に挑戦しました。また、第40回を迎えた作文コンクールでは、夏休みが短縮された中でも700作品以上の応募がありました。

さらに、これまでの啓発活動が評価され、神奈川県選挙管理委員会表彰を受賞し、実りのある年となりました。



▲ ホッチポッチミュージックフェスティバルでの様子 ▲ 市長選啓発電気自動車「デコレンタ」



▶ 表彰状を持つ大村中区明推協会長

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和2年11月	ホッチポッチミュージックフェスティバル	横浜公園で開催された「ホッチポッチミュージックフェスティバル」にて、〆横浜を代表する麺メニューを決める。模擬投票を行いました。	投票数：136票
通年	中区明るい選挙推進作文コンクール	区内在住・在学の小中学生を対象に、選挙やまちづくりをテーマとした作文コンクールを実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため表彰式は中止となりましたが、入賞者の方には表彰状と記念品が授与されました。	応募数：730作品 入賞者：18名
通年	明推協通信「イコットニュース」発行	推進員等への情報提供と選挙啓発意識の向上を目的とした機関紙を発行しています。	発行回数：年3回
通年	投票器材の貸出し	区内の企業・学校等へ実際の選挙で使用している投票器材の貸出しを行っています。	貸出件数：4件

●横浜市選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
ラッピングカーによる街頭啓発	市長選挙の選挙期日等をデザインしたラッピング電気自動車にて区内全域を巡回、人目につくエリアにて停車し、投票日の周知を図りました。	実施日程：8月13日～22日（計10日）
低投票率地域へのチラシ配布	子育て世帯にも目を留めてもらえるように裏面がぬりえになっているデザインの選挙啓発チラシを作成し、区内の投票率が低い地域に配布をしたことで投票率の向上を図りました。	配布数：10,000部
タウンニュース中区・西区版での広告掲載	タウンニュース中区・西区版（8月12日号）にて、西区と合同で記事を掲載し、期日前投票を推奨する等、投票所の混雑緩和を図りつつ、投票率向上を図りました。	

南区

南区明るい選挙推進協議会は、南区選挙管理委員会と連携し、「きれいな選挙」「積極的な投票参加」の実現を目指し、啓発活動を行っています。

常時啓発活動は、例年実施している行事が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となるなか、区内の設備及び行事において、当協議会の周知や投票参加を呼びかけました。

選挙時における啓発活動は、令和3年8月の横浜市長選挙に向け、ラッピングカーによる区内巡回、タウンニュースへの広告掲載、啓発物品の作成・配布を行い、投票参加を呼びかけました。

その他にも、年間を通じて、中学校・高等学校の生徒会選挙の際に、選挙器材の貸出しを行いました。



▲ 選挙啓発パネル展



▲ ラッピングカーによる区内巡回啓発



▲ 乳幼児健診会場

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和2年 11月	横浜商業高校での啓発パンフレット配布	例年、横浜商業高校文化祭（Y校祭）でブース出展をしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、実施しなかった。その代わりに、横浜商業高校に協力をいただき、高校3年生に、公益財団法人 明るい選挙推進協議会が発行する『VOTE FOR BOYS&GIRLS』を配布。	
	“まねっきー”クリーン選挙PR事業	南区明るい選挙推進協議会のマスコットキャラクター“まねっきー”と啓発標語の入ったポケットカレンダーを作成し、各課窓口等に配布。また、“まねっきー”のデザインをリニューアルした。	
令和3年 1月	推進員研修会	推進委員及び推進員の選挙啓発に対する知識や理解を深め、組織強化を図るため、選挙や政治に関連する外部施設への見学会を開催予定だったが、緊急事態宣言発令に伴い中止。代替として、参加予定者に、横浜市議会事務局が発行する『横浜市会リーフレット』と横浜市・区明るい選挙推進協議会が発行する『明るい選挙推進のためのハンドブック』を送付。	
	せんぎょフォーラム	区内の1校で、選挙の講義と、投票から開票までを体験し、給食メニューを決定する模擬投票を実施。 (南小学校)	参加人数：83名
通年	区内行事での啓発	新型コロナウイルス感染症拡大により、各行事が中止となったため、区役所内のデジタルサイネージを活用し当協議会の周知を行った。また、乳幼児健診会場や初開催の選挙啓発パネル展において、選挙啓発パネルの展示及び啓発物品の配布を行った。	

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
	明推協だより発行	明推協の事業内容や活動報告を機関誌にまとめ、推進委員及び推進員に年3回発行し、ホームページにも掲載。	
	選挙器材貸出し	未来の有権者の選挙への関心を高めるため、生徒会選挙等への選挙器材貸出しを実施。	

●横浜市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
ラッピングカーによる区内巡回啓発	ラッピングカーが、駅前、商店街等、区内の人が多く集まるエリアを巡回した(港南区と合同)。 日程：8月13日(金)～22日(日) 時間：9時～12時30分または14時～17時30分(港南区と合わせて1日7時間)	
タウンニュース広告掲載	タウンニュース(南区版) 8月12日(木)号に掲載した。	
啓発物品の配布	南区地域子育て支援拠点はぐはぐの樹、乳幼児健診会場等で、絆創膏セット800個を配布した。	

港 南 区

港南区では近年、主に若年層や子どもたちを対象とした啓発活動に力を入れて取り組んでいます。令和2年度は感染症対策について留意しつつ、選挙に興味・関心を持っていただけるよう、様々な啓発活動を行いました。

区内の高校生に選挙啓発について議論してもらう「若者会議」では、若い世代ならではのアイデアや意見が多くみられ、今後の啓発活動を考えるうえで大変参考になりました。

「せんきょフォーラム」では、小学校の児童に、本物の選挙器材を使って、身近なものをテーマにした、模擬選挙を体験してもらいました。

今後も引き続き、推進委員・推進員の皆様の協力のもと、選挙への関心が高まるような啓発活動を実施していきます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和2年5月	明るい選挙推進協議会委員会	令和元年度の事業報告、令和2年度の事業計画等の決議を書面開催にて行った。	24人
9月・10月・11月	区内高校文化祭での選挙啓発物品配架	区内の高校文化祭で、選挙啓発に関する資料やクリアファイルの配架を行った。	約500人
12月	せんきょフォーラム(模擬選挙)	区内の小中学校で児童や生徒を対象に、主に給食のデザートなどを決める模擬選挙を実施した。	146人
11月～令和3年2月	若者会議	区内の各高校にて、現役高校生が選挙啓発等について議論する会議を開催した。	63人
年3回	明推協だよりの発行	推進員を対象に、事業計画・事業報告、及び各種イベントの案内・報告等を掲載した。	
通年	選挙物品の貸出し	区内の小中学校や高校の生徒会選挙等のため投票箱や記載台などの選挙器材を貸し出した。	11校
	明るい選挙推進大会・研修会	令和2年度は感染症対策に留意し、開催は中止となった。	

▼高校文化祭での物品配架



▲市長選を啓発するラッピングカー

●横浜市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
地域メディアへの広告掲載事業	タウンニュース港南区・栄区版に、期日前投票と投票日に関する情報を掲載し、周知を図った。	8月5日号・8月12日号
ラッピング宣伝カー活用事業	市長選挙の選挙期日等をデザインしたラッピング電気自動車で港南区・南区内を巡回し、投票日の周知を図った。	ラッピングカー2台
啓発物品製作・配布事業	横浜市長選挙を啓発するエコバッグを作成し、主に港南図書館に配架した。	200個 配付
物品設置による啓発	幅広い年齢層が利用する区内の地区センター・コミュニティハウス・地域ケアプラザに啓発物品のポケットティッシュを設置した。	3,000個 設置

▼せんきょフォーラムの様子



保土ケ谷区

保土ケ谷区明るい選挙推進協議会では、将来の有権者となる若年層への啓発と、地域による選挙啓発活動の支援を中心に活動しました。

若者向けの活動では、「ほどがやバンドバトル」を無観客にて開催しました。若者の投票率向上のためのアイデアやキャッチフレーズを回答してもらう等の企画に加え、会場内で選挙啓発のスライドを投影する等、イベントの盛り上がりの中で選挙について考えていただく機会も作りました。

また地域への啓発活動の支援を目的として、絆創膏セットとウエットティッシュを作成しました。「明推協だより」にて告知のうえ、お申込みのあった団体に配付をし、選挙啓発活動に活用いただきました。



▲ TV画面を使って演説（せんきょフォーラム）



▲ 区内を周回したラッピングカー



▲ 相鉄線内の車両広告

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和2年 5月	定例会 (書面開催)	【議題】 ・令和元年度事業報告・収支決算報告 及び監査報告 ・令和2年度事業計画案及び予算案	
8月	第1回企画運営 部会	明推協事業の具体的な企画及び実施を 目的とした推進委員・推進員からなる少 人数の部会。 【議題】 ・地域啓発用の啓発物品の作製について ・コロナ禍での選挙啓発活動について	検討結果： 絆創膏セッ ト、ウエッ トティッシ ュ 各2,000個
11月	ほどがやバンド バトル（無観客 開催）	青少年指導員協議会と共催し、高校生 によるバンドバトルを開催。 参加した高校生バンドによる選挙啓発の アイデアを提案する企画やスライド投影 による選挙啓発を実施。	参加バンド数： 12組(57名) 学生スタッフ： 27名
12月～ 令和3年 1月	せんきょフォー ラム	小学校6年生を対象に、各学校が設定 したテーマによる模擬選挙の実施。	実施校数： 区内小学校3校 児童数：185人
令和3年 3月	第2回 企画運営部会 (書面開催)	【議題】 ・地域啓発用の啓発物品の作製報告 ・令和2年度明るい選挙推進協議会事 業の活動について ・令和3年度明るい選挙推進協議会事 業計画(案)について	

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
通年	選挙器材貸出し	区内の各学校に生徒会選挙等での使用 を目的に、投票箱等の選挙器材の貸出 しを実施。	貸出先： 中学校4校 特別支援学校1校
年3回	「明推協だより」 の発行	推進委員、推進員向けの機関紙を発行。	7月、11月、 3月

●横浜市市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
18歳へのグリーティング カード発行・送付	初めて選挙権を得た区内18歳の有権 者に対し、投票参加を呼びかけるグリー ティングカードを発行・送付。	配付人数： 区内対象者 1,771人
ラッピングカー（デコレンタ）	旭区と共同で実施。選挙期日に投票参 加を呼びかけるラッピングカーを作製、 区内の駅前、商業施設、住宅街を中 心に周回。	8/13、8/14、 8/15、8/17、 8/19、8/21 の6日間実施
相鉄線車内広告掲示	相鉄線沿線区（西区、旭区、瀬谷区、 泉区）と共同で相鉄線の車両内に期日 前投票を周知するドア横ポスターとド アステッカー広告を掲出。	掲出期間： 8/1～8/22

旭 区

旭区明るい選挙推進協議会では、「明るくきれいな選挙の実現」と「区民の積極的な投票参加の促進」を図るため、各種啓発活動を実施しています。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で例年のような活動を行うことが難しい状況だったため、コロナ禍でもできる活動を実施しました。具体的な活動として、オンライン開催となった区民まつりでは、明推協の活動内容を紹介する動画を配信しました。また、若年層向けの活動として、区内全高校の高校3年生に新有権者向けパンフレットと啓発物品を配布しました。

今後も推進委員、推進員の皆様と協力し、選挙に一人でも多くの方に関心を持っていただけるような啓発活動を行っていきます。

▼ 常時啓発物品 (左) 高校生向け啓発 (右)



▲ 相鉄線 車内広告

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和2年5月	旭区明るい選挙推進協議会定例会議	主な議題 ①令和元年度事業報告及び決算報告 ②令和2年度事業計画(案)及び予算(案) ・書面開催にて実施 (書面表決日：令和2年6月5日)	参加人数 推進委員 14名
11月	旭ふれあい区民まつり (ASAHI オンラインフェスティバル)	新型コロナウイルス感染症の影響で区民まつりがオンライン開催となったため、協議会の活動紹介動画を配信した。 ・撮影：令和2年11月5日 ・場所：旭公会堂 ・サイト公開期間：令和2年12月18日～令和3年3月21日	動画参加人数 推進員 3名
◇	高校生向け啓発	区内全7校の高校3年生に新有権者向けパンフレットとともに啓発用のマスクを配付した。 ・配付時期：令和2年11月	区内全7校の高校3年生 約1,800名
12月～令和3年3月	旭せんきょフォーラム	区内の小学生を対象に、給食のメニューなどの身近な話題をテーマにした模擬選挙を行い、選挙に対する理解・関心を深めた。 ・令和2年12月17日 都岡小学校 ・令和3年1月20日 善部小学校 ・令和3年3月4日 笹野台小学校	参加児童 73名 86名 120名
通年	選挙機材・物品の貸出し	区内の高等学校・中学校の生徒会選挙時に投票箱・記載台等の選挙機材や腕章・たすき等の選挙運動用品の貸出しを行った。	貸出し学校数 12校
◇	イコット通信の発行	推進委員・推進員への情報提供や推進員相互の連帯意識の向上を図るため機関紙「あさひイコット通信」を発行した。	年3回

● 横浜市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
相鉄線 車内広告	相鉄線沿線の5区の期日前投票所を記載した広告を車内のドア及びドア横に掲出した。	旭区、泉区、瀬谷区、西区、保土ヶ谷区 5区合同
タウンニュースへの広告掲出	タウンニュース旭区版に横浜市長選挙への投票を呼びかける広告を掲出した。	令和3年8月12日号掲載
ラッピングカーによる区内巡回	横浜市長選挙の投票を呼びかけるラッピングをした車で区内を巡回した。	令和3年8月13日～21日のうち6日間 保土ヶ谷区と合同で実施
Twitter	期日前投票の開始、混雑状況等をツイート	10月20日～30日 計7回

▼ タウンニュース旭区版 (8月12日号)



磯子区

磯子区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票率の向上を目指し、各種啓発活動を実施しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止により、各種イベントが中止になる中、磯子区明るい選挙推進協議会定例会議、磯子区明るい選挙推進研修会については書面にて開催しました。

令和3年1月には、せんきょフォーラム「給食選挙」を開催し、模擬選挙で献立を決めることにより、投票することの大切さを学んでもらいました。

また、年間を通して区内中・高等学校へ選挙器材を貸し出し、実際の選挙の雰囲気を経験してもらいました。

▼ 給食選挙の様子（候補者演説中）



▲ 生徒会選挙での器材貸出の様子

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和2年6月	磯子区明るい選挙推進協議会定例会議	令和元年度の事業・決算報告、及び令和2年度の事業計画・予算案について書面により審議しました。	
令和3年1月	せんきょフォーラム（給食選挙）	区内の小中学校でせんきょフォーラム「給食選挙」を開催しました。先生が給食の献立を公約に掲げ、模擬選挙を行って実際の献立を決めることにより、投票の大切さを学んでもらいました。 【実施校】 ・令和3年1月25日（月） 洋光台第一小学校 ・令和3年1月27日（水） 洋光台第三小学校	新型コロナウイルス感染症対策として、手指、机、記載台等の消毒を行いました。
令和3年2月	磯子区明るい選挙推進研修会	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により、書面により「選挙における新型コロナウイルス感染症対策」について研修を実施しました。	
通年	生徒会支援事業	区内の小中学校・高等学校に選挙器材を貸し出し、実際の選挙の雰囲気を体験してもらいました。 【貸出し校数】 中学校 7校 高等学校 1校 計 8校	
	明推協だより発行（年3回）	推進委員・推進員を対象に機関紙を発行。事業紹介・報告、選挙啓発活動等を行いました。	

●横浜市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
手指消毒用アルコールボトル配布	磯子区商店街連合会に加盟している店舗に対して投票日等を印刷した手指消毒用アルコールボトルを配布し、商店街利用者へ周知を行いました。	参加店舗数 約330店舗
タウンニュースへの記事掲載	近隣の金沢区と合同でタウンニュースに投票日及び期日前投票に関して掲載し、周知を行いました。	
HP・SNSによる啓発	HP・SNS 閲覧者に対して投票日等の掲載や選挙に関するクイズ等を出题することで啓発を行いました。	

▼ 磯子区明るい選挙推進研修会を書面開催



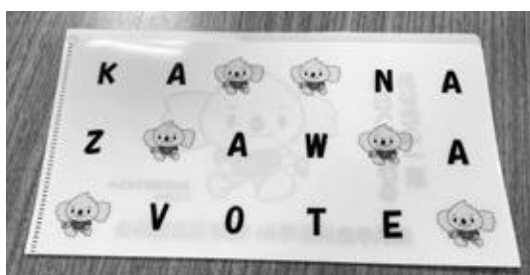
金 沢 区

金沢区明るい選挙推進協議会では、「若い世代に選挙について関心を持っていただくために…」をメインテーマに、啓発活動を企画・実施しています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学園祭への出展や区民祭りへのブース出展など例年実施してきた啓発活動を実施することができませんでした。

一方、これまで区内高等学校で実施していた出前授業の対象を区内小学校まで拡充し、令和2年度は区内4つの小学校にて選挙の講義及び模擬選挙を実施しました。また、将来の有権者である中学生に向けた「せんきょフォーラム」の開催や区内各学校への選挙器材の貸出しを行い、若い世代の政治・選挙に対する意識向上を目指し活動しています。

▼ 選挙出前授業



▲ 啓発物品

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和2年 5月	定例会 (書面開催)	令和元年度事業報告及び決算報告、令和2年度事業計画案及び予算案について、審議を行った。	
令和3年 2月	選挙クイズ	区民の選挙に対する関心を高めるため、「広報よこはま」金沢区版及び区役所HPに選挙に関するクイズを掲載し、正解者に抽選で啓発グッズを贈呈した。	
	せんきょフォーラム	将来の有権者である中学生を対象に講演会を開催した。 場所：横浜市立西金沢学園義務教育学校 中等部 演題：「明るい一票 うれしい未来」 講師：三遊亭 多歌介（落語家）	参加人数 3年生55人
	金沢区明るい選挙推進委員・推進員研修会	選挙についての知識を身につけていただくことを目的に区で作成した研修資料を配布した。	
通年	明推協にゆうすの発行	推進委員及び推進員向けに事業に関する情報提供や意識向上を目的に機関誌を発行した。(年3回：6月、9月、2月)	
	選挙出前授業	区内小・中・高等学校を対象に選挙の重要性や関心を高めるため、出前授業を実施した。(年5回：7月3回、12月2回)	実施校数 小学校：4校 高等学校：1校

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
	選挙器材貸出	生徒の選挙への関心を高めるため、区内学校で行われる生徒会役員選挙等に選挙器材の貸出しを行った。	貸出件数 中学校：11校 高等学校：3校 特別支援学校：1校

●横浜市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
タウンニュース掲載	磯子区と共同で広告を掲載し、期日前投票所や投票日を周知した。	掲載号 令和3年 8月12日発行
区独自ポスターの作成	金沢区選挙マスコット「いこあら」と金沢区幸せお届け大使「ばたんちゃん」をデザインしたポスターを作成し、区民利用施設や学校、商店街に掲出を依頼した。	
公共交通機関への広告掲出	作成した区独自ポスターを金沢区内京急線駅構内、シーサイドライン車内に掲出した。	掲出期間 シーサイドライン 7月22日から 8月22日 京急線駅構内 8月9日から 8月15日
啓発物品の作製	投票日を周知する内容を印刷したトイレットペーパーを作製し、区内大型スーパーなどへ配布し、区役所での使用を行った。	

港 北 区

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くのイベントが中止または縮小されましたが、感染症対策に取り組みながら、啓発事業を実施しました。

特に力を入れた事業が将来の有権者向け啓発事業です。港北小学校（7月）と新吉田第二小学校（8月）で出前授業を行いました。授業の中で身近なテーマに基づいた模擬投票を実施しましたが、生徒の皆さんからは模擬投票を通して、「選挙の仕組み・大切さを学んだ」という感想を多くいただきました。

上記の活動等については「イコット通信」に掲載して、明るい選挙推進協議会の推進委員及び推進員に周知しました（8月、12月）。

今後も新型コロナウイルス感染症対策に取り組みながら、推進委員・推進員の皆様と協力し、選挙への関心が高まるような啓発活動を実施していきます。



▲ せんきょフォーラム



▲ ラッピングカー（横浜市長選挙）



▲ 啓発物品（エコバッグ）

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和2年5月	定例会（書面開催）	令和元年度の事業報告、令和2年度の事業計画について審議しました。	推進委員 20名
7月～8月	せんきょフォーラム	区内の小中学校で出前授業を行いました。特に模擬投票を通して投票することの大切さを学んでいただきました。（小学校2校） ・港北小学校（令和2年7月30日） 選挙内容：好きな給食のメニュー ・新吉田第二小学校（令和2年8月24日） 選挙内容：運動会の応援団長選挙	参加人数：計 218名
通年	イコット通信の発行	区明推協の推進委員及び推進員を対象として発行し、啓発事業の報告やスケジュール等の情報共有を行いました。（8月、12月）	発行回数：2回
	選挙器材の貸出し	将来の有権者への関心を高めるため、生徒会役員選挙などを対象に、区内中学校及び高等学校に選挙器材の貸出しを行いました。	件数：8校
	啓発物品の配布	令和2年7月のレジ袋有料化にあわせ、啓発用のエコバッグを作製し、区明推協の推進委員及び推進員に配布しました。	
<p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「港北区明るい選挙推進協議会推進大会」及び大規模イベント（区民まつり、ヨコアリ君まつり、大倉山観梅会）での啓発事業は中止となりました。</p>			

● 横浜市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
横浜 F・マリノスと連携した啓発活動	【ラッピングカーによる啓発】 横浜 F・マリノス公式キャラクターである「マリノスケ」と港北区マスコットの「ミスキー」がコラボしたデザインのラッピングカーによる啓発を実施しました。区民が多く集まる場所を重点的に巡回し、市長選について周知を図るとともに、横浜 F・マリノスの元選手による音声メッセージを流して投票参加を呼びかけました。	運行期間 及び時間： 8/16～8/21、 9:00～17:30
啓発物品の配布	【庁内放送での啓発】 来庁者の多い時間に横浜・F・マリノスの元選手による啓発用の音声を読み流し、投票への参加を呼びかけました。	放送期間 及び時間： 8/9～8/21、 9:30,15:00,16:00
各種広告掲載	【乳幼児健診】 子育て世代を対象に啓発用ポケットティッシュを受付で配布しました。 【地区センター】 期日前投票所である日吉地区センター及びワクチンの集団接種会場である綱島地区センターで、啓発用ポケットティッシュを配布しました。 【郵便局】 港北郵便局及び綱島郵便局で啓発用ポケットティッシュを配布しました。	配布人数： 3,000人
	【広報物】 広報よこはま港北区版やタウンニュース港北区版へ広告を掲載し、区民に広く周知しました。 【区ホームページ】 区ホームページに啓発パネルを掲載しました。 【区庁舎】 区庁舎に横断幕・懸垂幕を掲出するとともに、区庁内モニターに啓発文を掲載しました。	・広報よこはま8月号（港北区版） ・タウンニュース港北区版8月5日号

緑 区

緑区明るい選挙推進協議会は、区民に政治や選挙への関心を高めてもらうことを主な目的として活動しています。

令和2年度は新型コロナウイルスの影響で、予定していたほとんどの啓発事業が中止となりましたが、非接触型での啓発活動に努めました。

啓発物品の作成においては、11月から啓発物品の考案をはじめ、新型コロナウイルス感染拡大防止と若年層の選挙への関心向上を兼ねて、慎重に検討を重ねた結果、2月に啓発マスクが完成。その後、3月に緑区内の高校及び地区センターに配付しました。

令和3年8月の横浜市長選挙の啓発事業については、非接触の啓発活動としてタウン誌への広報記事掲載やラッピングカー広告を実施しました。ラッピングカー広告では、人が集まる昼前後の商店街・繁華街やJR4駅を中心とした地域を重点地域として設定して啓発を行い、多くの区民に市長選挙のアピールを行うことができました。

▼ 選挙時啓発のラッピングカー



▲ 緑区マスコットキャラクター「ミドリ」(中央)

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和2年8月	SNSを活用した若年層向け啓発	来庁者向けのイベント等を開催し参加者に自身のSNSアカウントからメッセージを発信してもらう。	新型コロナウイルスの関係上、中止となりました。
10月	緑区民まつり	家族で楽しんでもらえるような選挙啓発ブースを出展する。	新型コロナウイルスの関係上、中止となりました。
11月	学校文化祭での啓発ブースの出展	投票率が相対的に低い傾向にある若年層の有権者を中心に、選挙に親しみと関心を持ってもらう。	新型コロナウイルスの関係上、中止となりました。
3月	鴨居桜まつり	幅広い年齢層を対象に選挙に親しみと関心を持ってもらう。	新型コロナウイルスの関係上、中止となりました。
通年	啓発物品の作製	啓発チラシ入りマスク	作成数：17,000枚
通年	イコット通信の発行	明推協委員・推進員を対象とした機関紙を発行し、各事業の告知や報告を行った。	発行回数：3回
通年	選挙器材の貸出し	区内の学校を対象に、投票箱や記載台等の選挙器材の貸し出しを行った。	貸出校数：4校

● 横浜市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
ラッピングカーによる街頭啓発	横浜市長選挙のイメージキャラクター等のラッピングを施した啓発カーの運行 実施期間 8月12日から8月21日(10日間) 走行エリア 緑区内全域 重点啓発地域 緑区内の駅、商店街周辺、主要道路等	
タウンニュース緑区版での広告掲載	タウン誌(タウンページ)への啓発広告掲載 広報よこはま8月号への市長選挙の記事掲載に続き、発行タイミングに合わせ12月号では主に期日前投票、19月号では当日投票を中心とした内容として実施。 日程：8月12日号、19日号	
区役所での啓発	庁舎内デジタルサイネージや広告・行政情報モニターを活用した啓発 告示日以降、庁舎内に設置されているデジタルサイネージや証明発行窓口前の「広告・行政情報モニター」を使用し、横浜市長選挙の広報を実施	

▼ 啓発チラシ入りマスク(表面)



青葉区

青葉区明るい選挙推進協議会は、「明るくきれいな選挙の実現」と「投票参加意識の向上」を目指し、「若年層啓発」を中心とした活動を行っています。

具体的な取組として、小学6年生を対象とした「せんきょフォーラム」、中学生を対象とした「青葉区明るい選挙推進作文コンクール」のほか、高校文化祭でブース出展を行いました。

また、啓発マスクを作製し、推進員による各自治会活動での配布を通じて、青葉区明るい選挙推進協議会の周知を図りました。区内で広く活動を周知できたとともに、選挙について関心を高める機会となりました。

今後も推進委員・推進員の皆様と協力し、投票参加につながる啓発活動に取り組んでまいります。



▲ せんきょフォーラム 出前授業



▲ せんきょフォーラム 模擬投票



▲ 明るい選挙推進作文コンクール表彰式

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和2年5月	青葉区明るい選挙推進協議会定例会議	令和元年度事業実績・決算報告及び令和2年度事業計画・予算審議等を行いました。 開催方法：感染症対策のため書面開催	参加人数：14名 (推進委員)
令和2年7月～12月	せんきょフォーラム	青葉区内2校の小学6年生を対象として、選挙への関心や知識を高めることを目的とした出前授業を実施しました。また、各学校に選定した「学校生活最後の給食」などをテーマにした模擬投票も実施しました。 開催日：令和2年7・12月 場 所：青葉区内小学校2校 (市ケ尾小学校・黒須田小学校)	参加人数：計220名 (区内小学校6年生)
令和2年7月～3年1月	青葉区明るい選挙推進作文コンクール2020	選挙や政治・社会について関心を持ってもらうとともに、選挙に対する区民の意識を高めることを目的として、区内の中学校に通学する中学生を対象とした作文コンクールを実施しました。 計164作品より8作品が入賞し、12月～1月に各学校で表彰を行い、メディアにも紹介されました。	参加人数：164名 (区内中学校3校に通う中学生)
令和2年7月	企画運営チーム会議	明推協事業実施に際して、推進委員及び推進員希望者で構成されたチームが主体となり、明推協の活動方針の確認など意見交換を行いました。 開催日：令和2年7月29日(水) 開催場所：青葉区役所	参加人数：9名 (推進委員・事務局)
令和2年11月	高校文化祭への参加	青葉区明るい選挙推進協議会の活動内容や、直近選挙での若年層の投票率等をポスターとして作製し、掲示を行いました。あわせて、啓発物品の配布も行いました。 開催日：令和2年11月5日(木) 開催場所：県立市ケ尾高校	参加人数(啓発物品配布数)：400名 (市ケ尾高校在学中3年生)
令和3年3月	青葉区明るい選挙推進協議会推進委員・推進員研修会	「誰もが投票しやすい環境を目指して」をテーマに、投票所運営の際に活用することを目的に行いました。投票所のバリアフリーや障害別対応方法などを学びました。 開催方法：感染症対策のため書面開催	参加人数：120名 (推進委員・推進員)
年3回 (令和2年7月・令和2年12月・令和3年3月)	イコト通信の発行	選挙啓発活動の周知を行うため、明推協の事業紹介や選挙結果報告等を掲載した機関紙を発行し、推進委員及び推進員への送付や、青葉区明るい選挙推進協議会のホームページへの掲載を実施しました。	

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
通年	投票器材貸出	選挙についての理解を深め、親しみを持ってもらうため、生徒会役員選挙等で、区内の中学校・高校に投票箱や記載台等の貸し出しを行いました。	貸出実績：14件(中学校：11件、高等学校：2件、特別支援学校：1件)
通年	啓発物品の購入	常時啓発の物品として、チラシ入りマスク、ボールペンの作製を行い、推進員の自治会活動や高校文化祭等のイベントで配布しました。	

●横浜市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
親子で描こう！ 選挙啓発ポスター展	選挙に対する区民の意識を高め、未来の有権者を育成することを目的として、区内市立小学校の生徒を対象に親子で描く選挙啓発のポスターを募集しました。 計162作品の応募があり、青葉区役所1階での展示及び区HPでの掲載を行いました。 募集期間：令和3年6月1日(火)から令和3年7月2日(金)まで 展示期間：令和3年8月16日(月)から令和3年8月22日(日)まで	参加人数：162名 (区内市立小学校生徒及びその保護者)
東急線鉄道駅への啓発ポスター掲出	青葉区内の東急田園都市線駅構内に区が作成したポスターを掲出しました。 掲出場所：東急田園都市線駅構内5駅 (青葉台駅、あざみ野駅、市が尾駅、藤が丘駅、江田駅) 掲出期間：令和3年8月2日(月)から令和3年8月22日(日)まで	
タウンニュース青葉区版への広告掲載	青葉区版タウンニュースに区が作成した記事を掲載しました。 掲載日：令和3年8月12日発行号	

都 筑 区

都筑区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票参加意識の向上を目指し、「若年層啓発」に力を注いだ取り組みを行っています。

令和2年度中の具体的な取り組みとしては、せんきょフォーラム事業として、都筑区内の小学校にて模擬選挙を実施しています。

また、令和3年度の横浜市長選挙の啓発事業としては、市営地下鉄のホームドア広告やフォトパネルの設置などを行いました。

これからも地域に密着した啓発活動や、若年層向けの啓発活動を展開することで、着実な成果を上げていきたいと考えています。



▲ オリジナル啓発グッズの配布



▲ せんきょフォーラムでの小学生の模擬選挙



▲ 区民ホールへフォトパネル設置（市長選挙）

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和2年4月	都筑区明るい選挙推進協議会会議	前年度の事業内容を振り返り、令和2年度事業計画について、書面開催にて協議を行いました。	
6月、10月、3月	明推協だより（区版）の発行	明推協の機関紙として、推進委員、推進員に活動内容等を報告しました。	
令和3年1月	せんきょフォーラム	都筑区内の小学6年生を対象に選挙について関心をもってもらうため、「給食のメニュー」をテーマに選挙に関する授業と模擬選挙を行いました。教科書だけではわかりにくい選挙の仕組みについて、実際の選挙器材を使って体系的に学んでもらうことができました。	参加人数：川和小学校6年生計61名
3月	明推協PR事業	3月下旬の引っ越しシーズンに合わせ、来庁者の増える戸籍課そばのPRスペースにて、オリジナル啓発グッズやパンフレット等を配布し、啓発を実施しました。 乳幼児健診会場においてオリジナル啓発グッズを配布し、訪れた保護者に向けた啓発を実施しました。	配布実績：ポケットティッシュ 1,270個 メガネ・スマホクリナー 490個 パンフレット類計 99冊 配布実績（3月末現在）：ノンアルコールウェットティッシュ 500個
		3月28日に行われた横浜ビー・コルセアーズ都筑区応援 day にて来場者へ啓発物品を配布。ハーフタイムにはイコット Jr. も出演しました。	配布実績：ウェットティッシュ 2,000個
通年	若年層啓発（東京都市大学との連携）	メディア情報をテーマとする教授、学生と共に若年層啓発のあり方について考えました。	
	地区協議会企画事業	地区協議会ごとに啓発・研修事業を展開するとともに、メモ帳等の啓発物品を各地区において配布し常時啓発を行いました。	

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
	未来の有権者育成事業	生徒の選挙についての理解を深めるため、区内小、中及び高等学校の生徒会役員選挙等に投票器材の貸出しを行いました。	貸出実績：区内中学校・高等学校計7校

●横浜市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
市営地下鉄における広告の掲出	7月26日（月）～8月22日（日）の4週間に渡り、市営地下鉄ブルーライン・グリーンラインのセンター南駅及びセンター北駅のホームドアに、投票日や期日前投票所の場所などを掲載した広告を掲出しました。	参考：4駅あわせて1日あたりの利用者（乗車人員）約85,000人
地域情報誌（タウンニュース）を用いた啓発	タウンニュース都筑区版（紙、web版両方）に、市長選の投票日・期日前投票の案内などを掲載し、周知を行いました。（8月12日及び8月19日）	発行部数：約40,000部×2回
フォトパネルの設置	7月下旬～8月21日にかけて、区役所1階区民ホールにフォトパネルを設置し、来場者へ向けて市長選について周知するとともに、写真のSNSなどへのアップロードを通じて来場者以外への拡散を狙いました。	
区独自啓発チラシの発行	啓発チラシを作成し、区内の公立小中学校の生徒へ配布しました。また、区内各駅や区民利用施設のPRボックスに配架し、区民へ向けて周知しました。	配布・配架実績：区内の公立小中学校の生徒19,360人・区内各駅、区民利用施設の利用者PRボックス配架数440部
街頭啓発「ザ・イコット」	明推協委員・推進員で各地区協議会において、啓発グッズの配布等、各地区内で独自の啓発活動を実施しました。	

戸塚区

戸塚区明るい選挙推進協議会は、明るい選挙の実現と区民の積極的な投票参加を目指して活動しています。推進委員13名と、推進員44名が3部会に分かれて活動しています。

令和2年度は、主な事業である「戸塚ふれあい区民まつり」「イコット映画会」を開催できず、「研修会」も形を変えての実施となりました。

そのような中、集合形式によらない啓発事業として動画の作成を行いました。イコット Jr. や「戸塚区のマスコット ウナシー」が出演し、選挙に親しみが持てる内容となっています。

令和3年8月に執行された横浜市長選挙では、啓発動画を2本作成したほか、バス車体への広告掲載や、啓発物品を区役所職員が身に付けるなどの啓発事業を行いました。

▼ せんきょフォーラム



▲ 市長選時の啓発物品（うちわ・マスク）

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和2年 4月	戸塚区明るい選挙推進協議会総会	例年、全推進委員・推進員が出席して開催されていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ書面により開催しました。	
令和3年 1月	せんきょフォーラム	横浜市立平戸台小学校において、出前講座と、給食のデザートを児童の投票により決定する模擬選挙を実施しました。	参加人数：6年生児童33人
2月	明推協推進員研修会	推進員向けの研修として、「コロナ禍での選挙」というテーマのもと、投票所における感染症対策等について資料を作成し、書面により研修を行いました。	推進委員・推進員計57名に送付
3月	啓発動画の作成	コロナ禍における啓発事業として、2本の動画を作成しました。イコット Jr. や区マスコットキャラクターが出演し、選挙にまつわるクイズや投票の仕方を実演する内容で、動画は区ホームページ及び区Twitter等にて公開しています。	区 Twitter のフォロワー約7,700人(令和3年4月)再生回数：557回(2本の合計、令和3年11月時点)
通年	『未来の有権者』育成事業	区内の中学校・高校を対象に、生徒会選挙や模擬選挙等でより実際に近い選挙を体験してもらうため、投票箱や記載台等の器材の貸出しを行いました。	貸し出実績：9校の中学校・高校
	明推協通信	推進委員・推進員を対象に明推協の機関紙を発行しました。(年2回：7月、翌2月)	

●横浜市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
啓発動画の作成	投票日の周知や子育て世代への啓発を目的に2本の動画を作成しました。動画は、横浜市公式 YouTube、戸塚区 HP、戸塚区公式 Twitter、戸塚区総合庁舎内デジタルサイネージ、戸塚モディのデジタルサイネージに掲載しました。	
バス車体後部への広告掲載	神奈中バスの車体後部へ、市長選挙を周知する広告を掲載しました。	
啓発物品の作製	啓発用のうちわ・マスクを作製し、区役所窓口のうちわを配架したほか、職員がロゴ入りのマスクを着用しました。	うちわ配布枚数：約300枚
懸垂幕設置	臨時期日前投票所が設置されている西武東戸塚店の外部壁面(東戸塚駅向き)に投票日と臨時期日前投票所の場所・期間を周知する懸垂幕を設置しました。	

▶ 動画は2次元QRコードからご覧いただけます



栄区

栄区明るい選挙推進協議会では、「明るい選挙の実現」と「区民の積極的な投票参加の促進」を目指して、各種事業を実施しています。

しかし令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、例年開催しているイベントを中止するなど、啓発活動が難しい状況でした。

感染症対策を徹底し、小学校に出向いて開催した「せんきょフォーラム」では、選挙の概要・重要性について講座で説明してから、選挙をより身近に感じてもらうための模擬投票を行っていただきました。

また、選挙啓発物品としてアルコール除菌ウェットティッシュと不織布マスクを作成するなど、栄区明るい選挙推進協議会の活動についてもウィズコロナな1年となりました。

▼ せんきょフォーラム



▲ 選挙啓発物品

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和2年7月	せんきょフォーラム	区内小学校を対象に選挙出前講座を実施。 ・場所 本郷台小学校	参加人数：約90人
通年	選挙器材貸出し 啓発物品作製	区内の学校で実施される生徒会選挙に際し、選挙器材の貸出しを実施。 アルコール除菌ウェットティッシュと不織布マスクの作製を行い、栄区役所各課窓口や栄図書館にて配布。 また、街頭啓発用の協議会名入りアウターも作製。	貸出実績：6件
年3回	イコット通信の発行	協議会活動の周知・組織の連携を図ることを目的として発行。	

●横浜市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
懸垂幕を利用したPR事業	懸垂幕を作製し、区内大型商店（イトーヨーカドー桂台店）に設置。	設置期間：令和3年6月中旬から投票日当日まで
啓発物品（アルコール除菌ウェットティッシュ等）の作製	選挙期日や選挙啓発マスコット等がデザインされたアルコール除菌ウェットティッシュ等を作製し、区役所各課及び図書館に窓口配架を依頼。	
投票啓発チラシのポスティング	投票率の低い投票区の住民に向け、投票啓発チラシをポスティング。	
神奈中バス車内デジタルサイネージによるPR	バス運転席背面の液晶モニターに選挙啓発画面を掲出。	掲出エリア：神奈中バス横浜営業所管内
タウンニュース（港南区・栄区版）を利用したPR	広報よこはま（8月号）と併せて、タウンニュース区版に投票日・期日前投票期間などを掲載。	

▼ 選挙啓発物品



泉 区

泉区明るい選挙推進協議会では、「きれいな選挙」と「積極的な投票参加」の実現を目指し、積極的な啓発活動を行っています。

年間を通じ「新しい生活様式」を踏まえた事業展開が求められるなか、例年とは異なる柔軟な計画の見直しを踏まえながら、投票率の向上に繋がる啓発活動に取り組みました。

「明るい選挙」推進キャンペーンでは、泉区役所区民ホールにて啓発動画の上映や啓発パネルの展示等を実施し、来庁された幅広い世代の区民の方々に楽しみながら選挙について学んでいただきました。

また、例年実施している出前授業に代わる新たな取組として、選挙啓発リーフレット「せんきょフォーラム」を発行し、泉区内の小学校全16校に配布しました。



▲「明るい選挙」推進キャンペーン



▲ 泉区明推協による製作物



▲ 相鉄線車内広告掲示（5区合同）

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和2年7月	定例委員会	役員選任、平成31年（令和元年）度事業報告、平成31年（令和元年）度決算報告、平成31年（令和元年）度会計監査報告、令和2年度事業計画案・予算案の審議・決定。 場所：泉区役所4F会議室	
9月	「明るい選挙」推進キャンペーン	啓発ブースを出展し、選挙啓発アニメの上映、選挙に関するパネル展示等の運営。啓発物品を配布。 場所：泉区役所区民ホール	
	「あと3年」クイズの発行	市選管発行の社会科副教材「あと3年」を基にクイズを作成し、区内中学校及び戸塚区汲沢中学校の3年生に配布。	実施校：8校
11月	明るい選挙推進研修	「明るい選挙と若年層の投票率の向上」をテーマに、市選管作成の研修資料を活用し書面で開催。	参加人数：150人
	高校文化祭（web開催）への出展	web上で開催された高校文化祭にて、投票や選挙について考えるきっかけになるような市選管作成の選挙啓発動画を配信。 場所：修悠館高等学校（webページ）	
令和3年1月	泉区民ギャラリーへの展示	市選管発行の社会科副教材「あと3年」の内容を中心とした選挙に関するパネル等を展示。 場所：横浜市営地下鉄立場駅、中田駅	
2月	高校生向け啓発リーフレットの発行	高校生向け啓発リーフレット「高校生のためのせんきょブック」を作成し、区内高校の2年生を対象に配布。	実施校：4校
3月	せんきょフォーラム	将来の有権者である区内市立小学校の6年生を対象に、選挙について学習する機会を提供する選挙啓発リーフレットを配布。	実施校：16校
通年	明推協だよりの発行	推進委員及び推進員向けに事業の計画やボランティアの募集、活動報告等を掲載した機関紙を年3回発行。	発行月：7・11・2月
通年	投票器材の貸出し	区内の中学校で行われる生徒会選挙に際し、投票器材の貸出しを実施。	貸出校：6校

●横浜市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
区独自横断幕とポスターの作成・設置	期日前投票所をPRする横断幕とポスターを作成し、市営地下鉄立場駅前のバスターミナル付近に設置。	掲出期間：令和3年7月21日～8月22日
区独自ポスターの掲示・表示	作製したポスターを相鉄線各駅及び区民ギャラリー、区民利用施設、区内掲示板、区役所内にあるデジタルサイネージ及び待合スペース内モニターへ掲示または表示。	掲示（表示）期間：令和3年7月21日～8月22日
区役所内等における啓発	区内区民利用施設カウンター等及び泉区役所内窓口にて期日前投票所をPRする卓上のぼりを設置。また泉区役所内窓口にはイコットJr. むいぐるみ・啓発用ポケットティッシュを併せて設置。	設置期間（区内区民利用施設カウンター等）：令和3年7月21日～8月22日 設置期間（泉区役所内窓口）：令和3年8月9日～8月22日
広報誌による啓発	広報よこはま泉区版に、当日投票、期日前投票、不在者投票等選挙に関する情報を幅広く掲載。	掲載号：令和3年7月号、8月号
地域情報誌（タウンニュース泉区版）に広告掲載	タウンニュース泉区版に選挙期日や泉区の期日前投票所等を記載した広告を掲出し、新聞へ折込み配布。またweb版にも掲載。	掲載号：令和3年7月29日号、8月19日号 発行部数：約28,000部×2回
相鉄線車内広告による啓発	相鉄沿線の5区（泉・西・保土ヶ谷・旭・瀬谷）合同で相鉄線全線に期日前投票所の案内広告（ドア横ポスター・ドアステッカー）を掲出。	ポスター 掲出期間：令和3年7月21日～8月20日 ステッカー 掲出期間：令和3年8月1日～8月22日

瀬谷区

瀬谷区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と区民の投票参加の促進を目指して各種啓発活動を行っています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、これまで実施していた各種イベントでの啓発活動や区内小学校での模擬選挙「せんきょフォーラム」が実施できませんでした。このような状況でありましたが、感染対策を万全にして8月に「明るい選挙こども映画会」を開催し、明るくきれいな選挙の推進と投票参加について啓発を行いました。

選挙時においては、令和3年8月の横浜市長選挙の際に、相鉄線車内、三ツ境駅、瀬谷駅などに区の独自啓発として広告や横断幕等を掲出し、分散投票や投票参加を呼びかけました。



▲ 啓発物品の製作（エコバッグなど）



▲ 市長選啓発 瀬谷駅横断幕

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容	参加人数・備考
令和2年5月	横浜市瀬谷区明るい選挙推進協議会定例会議	前年度の事業実績、決算報告及び当該年度の事業計画案、予算の審議を行いました。	推進委員29名 ※新型コロナウイルス感染症拡大から書面開催
5月(第1回) 9月(第2回) 1月(第3回)	地区代表者会議	啓発事業の応援依頼及び実施経過報告等を行いました。	地区代表者12名 ※新型コロナウイルス感染症拡大から書面開催
6月(第1回) 12月(第2回) 3月(第3回)	エコット通信発行	推進員へのお知らせ、啓発等を目的に情報紙を発行しました。	推進員約200名
8月	明るい選挙こども映画会	感染症対策を万全にとった上、瀬谷公会堂で映画会を開催し、参加した児童及びその保護者を対象に選挙啓発を実施しました。映画の前に選挙啓発DVDを上映しました。また、横浜市の選挙マスコット「エコット Jr.」の着ぐるみも登場し選挙の大切さをアピールしました。	映画会への参加人数：約70人 ※当日ご協力いただいた推進員11名
通年事業	区内各学校への選挙器材等の貸出	将来の有権者である児童・生徒の選挙への関心を深めるため、区内の学校へ生徒会選挙用、授業教材として実際の選挙に使用する投票器材や選挙運動用具の貸出しを行いました。	延べ12校に貸出し
	啓発物品の製作	推進員の方々に日頃から持ち歩いて常時啓発していただくよう、「選挙啓発エコバッグ」、「選挙啓発メッシュケース」を製作し、配布しました。	推進員約200名

●横浜市長選挙時啓発事業

事業名	事業内容	参加人数・備考
啓発ティッシュの配布	12地区の推進員が約1万個の啓発ティッシュを各世帯へポストインしたり、地域の集まりで配布しました。	推進員約100名
相鉄線への車内広告	相鉄線沿線の5区で共同し、相鉄線の車両内に期日前投票を周知する広告（ステッカー、ポスター）を掲出し、期日前投票の利用を呼びかけました。	
駅横断幕の製作・掲出	投票日及び期日前投票を活用した分散投票を呼び掛ける横断幕を相鉄線三ツ境駅改札付近及び瀬谷駅南北自由通路に掲出し、周知を行いました。	
タウンニュース（瀬谷区版）への掲出	投票所での感染症対策の実施と分散投票を呼び掛けについて、広く区民に周知を行いました。	



▲ こども映画会の様子

横浜市 令和2年度の事業

●横浜市明るい選挙推進協議会事業

事業名	内容	備考
研修等事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市・区明るい選挙推進大会については開催を見合わせ、白バラよこはま等の資料送付による市区明推協の推進委員・推進員の意識高揚を図りました。 また、例年発行している推進委員等用のハンドブックを改訂し、配付しました。	「明るい選挙推進ハンドブック」の改訂・発行 発行部数：3,300部
将来の有権者及び若年層向け啓発事業	将来の有権者の意識啓発を図るため、各区で貸し出している生徒会選挙支援物品の整備を行うとともに、市選管との共催事業である「せんきょフォーラム」を支援しました。 また、横浜市若者選挙啓発団体イコットプロジェクトへの支援を行いました。	1 生徒会役員選挙等への支援 2 イコットプロジェクト啓発支援 3 18歳選挙権を踏まえた啓発
(公財)明るい選挙推進協会連携事業及び市・区明推協連携事業	(公財)明るい選挙推進協会が主催する総会、全国研修会などについても、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くが中止や書面会議となりましたが、唯一開催された地域コミュニティフォーラムでは、他都市の先進事例等の情報を共有するとともに、連携を深めました。	
明るい選挙推進のためのハンドブックの発行	明推協委員・推進員を対象に、明るい選挙推進運動に携わる際の、地域での啓発などを目的に、活動に際し必要な事項を分かりやすくまとめた手引書を発行し、全推進員に配付しました。	発行部数 3,300部
白バラよこはま(No.50)発行	市及び区が平成31年度(令和元年度)に実施した各種啓発事業紹介や推進員の心得等を掲載した機関誌を作成し、各区の推進員ほか、関係者に配付しました。	発行部数 3,300部

●横浜市選挙管理委員会 常時啓発事業

事業名	内容	備考
選挙管理委員会単独事業 若年層啓発事業	若者の間で普及しているSNSを活用し、タイムリーで効果的な情報発信を行いました。定期発信のほか、区・市選管での啓発時等随時発信しました。	随時発信
選挙啓発冊子「はたちの投票Book」	新成人にとって必要な選挙の知識、選挙のルールを掲載した冊子「はたちの投票Book」を作成し、市内の新成人の有権者全員に郵送しました。	郵送対象者：約35,600人 郵送日：12月7日(月)
「成人の日」を祝うつどい	「成人の日」を祝うつどい会場内外での映像放映や場内放送、当日配付冊子で、新成人に選挙の重要性や投票参加を呼びかけました。	日程：令和3年1月11日(月・祝) 会場：横浜アリーナ及びパシフィコ横浜ノース 対象：36,853人
将来の有権者への啓発事業	教育委員会と連携し、市内中学校の3年生全員に、選挙や政治の大切さをわかりやすく説明した社会科副教材「あと3年」を配付し、学校教育の中で将来の有権者となる中学生に啓発を行いました。	配送：令和2年9月 対象：市内中学3年生 約32,000人
WEBを活用した若年層向け啓発事業	選挙や投票を考えてもらうきっかけづくりとして、若い世代のトレンドであるWEB広告による情報発信などを実施しました。	実施：令和2年3月
選挙制度等の広報	市ホームページや郵便投票周知用リーフレットを活用して、選挙制度の周知を進める等、積極的な広報を実施しました。	実施：通年
市明推協との共催・連携事業 せんきょフォーラム	将来の有権者向けに、学校と区・市選管、区明推協が協働し、受講者参加型の出前授業を実施しました。また、大学生による「今から考えよう／政治のこと・社会のこと・選挙のこと」をテーマとした出前授業を市内高校で実施しました。	実施：通年 会場：各区学校等
啓発物品の製作	近年低下傾向にある投票率向上のために、共通デザインのウェットティッシュを製作し、区のイベント等で配布しました。	区のイベントで活用する共通デザインの「ウェットティッシュ」の製作
啓発ポスター掲出	きれいな選挙と投票参加の呼びかけを図るため、みなとみらい線馬車道駅、みなとみらい駅、横浜駅改札付近及び桜木町野ちかみちに選挙啓発ポスター等を掲出しました。	
市明推協支援 明推協関連	2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、市・区明るい選挙推進大会の集合形式での開催は見送りました。なお、推進委員、推進員へは、各区より白バラよこはま、イコット通信の配付を行いました。	
明推協自主事業及び組織強化のための補助	市及び各区の明るい選挙推進協議会が地域の特性に合わせて実施する行事、イベント等の活動に対して補助を行うとともに、イコットプロジェクトの啓発事業に対しても、引き続き支援しました。	

令和3年
8月22日執行

横浜市長選挙 啓発事業実績

令和3年8月22日、横浜市長選挙が執行されました。

今回、新たに新市庁舎のデジタルサイネージを活用した啓発やニュースアプリによる情報発信のほか、若年層啓発として高校生へのチラシの配付を行いました。また、コロナ禍の中でも有権者に周知できるよう、WEB広告やTwitterなどのSNSを活用した啓発に加え、市内各所を巡回して投票日の呼びかけを行ったラッピング自動車や、今回新たに実施した横浜駅西口の巨大なバナー広告など、非接触式の広報活動を取り入れました。さらに、あらゆる媒体で感染症対策を行っている旨を周知し、有権者の皆様に安心して投票できることを呼びかけました。

今回の市長選挙の投票率は49.05%となり、前回（平成29年7月30日執行 37.21%）より11.84ポイント上回りました。これは、単独選挙としては統一地方選挙から分離独立した昭和53年以降、過去最高の投票率となりました。



▲ Yahoo! ディスプレイ広告



▲ SmartNews 横浜市チャンネル



▲ 新聞広告

実施項目	内訳・概要	内 容	期 間
横断幕・看板等	約300枚	横断幕等による広報を実施（市営地下鉄、行政庁舎関係、地区センター、スポーツセンター、歩道橋、商店街、市内高校・特別支援学校、大学等）	8月9日から8月22日
街頭フラッグ	48枚	みなとみらい動く歩道にバナーフラッグ広告を掲出	8月9日から8月22日
ポスターの掲出	約30,000枚	自治会・町内会掲示板、保育園・幼稚園等、高校、大学、スーパー、交通広告（鉄道駅・車内）、郵便局、公共機関等に掲出	7月29日以降
啓発三角柱	20枚	区庁舎等の啓発三角柱を活用した広報を実施	8月3日から8月22日
公営ポスター掲示場を利用した啓発	4,716箇所	公営ポスター掲示場を利用し、投票日、投票時間の案内を表示	8月6日から8月22日
看板・幕・ポスター類			
横浜駅・自由通路広告		利用者が市内最大の横浜駅に集中的に広告を掲出	8月9日から8月22日
馬車道駅	8枚	市庁舎の最寄り駅である馬車道駅で、集中的に広告を掲出	8月9日から8月22日
鉄道車内ポスター	2路線	車内広告等で、有権者への啓発を実施（市営地下鉄ブルーライン・グリーンライン）	8月9日から8月22日
バス車内ポスター	4社	車内広告等で、有権者への啓発を実施（相鉄バス、京急バス、東急バス、臨港バス）	8月9日から8月22日
駅貼りポスター	市内14路線各駅	市内の駅に啓発ポスターを次々あける路線の市内全駅で掲出（B0・B1サイズ） JR京浜東北根岸線・横浜線・東海道線・横須賀線・湘南新宿ライン・東急東横線・田園都市線・目黒線、みなとみらい線、相鉄線、京急線、市営地下鉄ブルーライン・グリーンライン、シーサイドライン	8月9日から8月22日
移動型広告			
広報車（市内巡回）	市内巡回	ラッピング電気自動車3台による啓発キャラクターの音源を使用した市内18区及び横浜駅、みなとみらい・横浜スタジアム等の市民が多く集まる場所への巡回啓発を実施	8月9日から8月22日
車体側面シール	約1,800枚	ゴミ収集車・公用車の両側面に啓発ステッカーシールを掲出	8月9日から8月22日
ゴミ収集車	約700台	収集車巡回中に、投票日・期日前投票制度を周知、投票参加の呼びかけを放送	8月9日から8月22日
公用車	約100台	区の広報車等を活用して、投票日・期日前投票制度を周知、投票参加の呼びかけを放送	8月9日から8月22日
印刷物等			
広報よこはま市・区版	約160万部	広報の市版・区版の紙面を活用した周知活動を展開	8月号
投票のご案内同封啓発チラシ	約180万部	「投票のご案内」に啓発チラシを同封	8月上旬
啓発チラシ	約1万部	市内の高校3年生を対象に配付するほか、啓発イベントなどで市長選の案内や、期日前投票の広報を実施	7月15日
選挙公報	約185万部	紙面の余白を活用し、投票日、投票時間、期日前投票等の情報を掲載。全世帯に配布	8月20日まで配布

実施項目	内訳・概要	内 容	期 間
印刷物等			
点字版、音声版「選挙のお知らせ」	ボランティア団体等の会員	選挙公報を点訳、録音した「選挙のお知らせ」（浜視協外）のボランティア団体等による作成、配布希望者全員への配布（区役所・図書館等へ配架）	8月9日から8月22日
駅のデジタル画面	横浜駅、桜木町駅、みなとみらい駅	利用者が市内最大の横浜駅（京急線、市営地下鉄タワーアトリウム、みなみ通路）やJR桜木町駅、みなとみらい駅にてデジタル広告を掲出	8月9日から8月22日
鉄道車内動画広告	6路線	車内ビジョンにて、投票日等の啓発を実施（JR京浜東北根岸線・横浜線、市営地下鉄ブルーライン・グリーンライン、東急線、みなとみらい線）	8月9日から8月22日
鉄道車内LCD	1路線	ドア上の車内LCDで、投票日等の啓発を実施（市営地下鉄ブルーライン）	8月9日から8月22日
バス車内動画広告	2社	車内画面にて、投票日等の啓発を実施（市営バス、神奈中バス（横浜市内各営業所））	8月9日から8月22日
区役所内動画広告	各施設	各区役所での戸籍課窓口電光掲示板・区民フロア等に設置している画面にて投票日等を展開	8月9日から8月22日
その他のデジタル広告	ランドマークタワー 市庁舎	利用者の多いランドマークタワー入口やプラザで、デジタル広告40面を掲出 市庁舎3階の案内板等のデジタル画面を活用した広報を実施	8月9日から8月22日
新聞広告	7紙	新聞に5段1/2サイズの広告を掲載（読売、朝日、毎日、東京、産経、日経、神奈川の各新聞朝刊）	8月17日
市広報番組等	2回	広報課所管のテレビ番組で投票日等の周知を実施（ハマナビ）	8月9日、8月21日
ラジオCM広告	2回 60本 92本	広報課所管のラジオ番組で投票日等の周知を実施（ヨコハマ・マイチョイス） テレビ（tvk）に15秒のCMを放送 ラジオ（AMニッポン放送、FMヨコハマ）に20秒のCMを放送	8月9日から8月22日
市営地下鉄車内・構内放送		市営地下鉄全駅	8月9日から8月22日
文字放送	14日間	t v kデータ放送横浜市情報で、広報を実施	8月9日から8月22日
大学での啓発			
大学の構内、フェンス等に幕、看板を掲出	市内協力大学	投票参加を呼びかける幕、看板を掲出	8月9日から8月22日
大学のホームページへのPRバナー掲載		大学が管理するホームページ（ポータルサイト）に啓発広告を掲載	8月9日から8月22日



▲ 啓発物品



▲ 自治会・町内会掲示板ポスター



▲ 横浜ランドマークタワー デジタルサイネージ



▲ JR横浜タワーアトリウム大型バナー



▲ 横断幕 (桜木町駅前広場)



▲ みなとみらい線みなとみらい駅 MM ビジョン

実施項目	内訳・概要	内容	期間		
啓発行事	各区独自啓発事業	18区	各区選管・明推協が主体となって、独自の啓発活動を実施	7月下旬から8月22日	
	メッセージ動画配信	特設サイト	横浜市長選挙啓発キャラクターの石塚英彦さん、倉持明日香さんからのメッセージ動画を特設サイトで公開	8月17日	
WEB・SNS	イントラネットの活用	YCAN等	YCAN・庁内報等を活用した職員向け啓発の実施	8月2日から8月22日	
	市長選特設ページの作成・運用	特設サイト	啓発キャラクターを用いたデザインをベースに、投票日や期日前投票を周知、選挙公報、候補者情報等を掲載	7月21日から8月27日	
	横浜市ホームページ	市ホームページ	市長選ページを作成し、選挙公報や期日前投票所の案内など、選挙情報を案内。また、トップページにリンクを設定。	8月9日から8月22日	
	YouTube (横浜市ページ) による啓発動画の掲載	横浜市公式アカウント	啓発キャラクターを用いた啓発動画を横浜市のページに掲載し、投票参加の呼びかけを実施	8月9日から8月22日	
	市選管ツイッターによる投票情報の提供	市選管アカウント	投票日や市長選特設ページの周知など、選挙関連情報や啓発活動を展開	4月下旬から8月22日	
	Yahoo! JAPAN ブランドパネル	80,000,000	ポータルサイトに広告を表示し、投票日等を周知	8月9日から8月22日	
	SmartNews (スマートニュース)	横浜市チャンネル	ニュースアプリ SmartNews (スマートニュース)「横浜市チャンネル」において投票参加を呼びかけ	8月9日から8月22日	
	Google Display Network	3,000,000	各サイト等に選挙啓発バナーを表示し、投票日等を周知	8月9日から8月22日	
	YouTube インストリーム動画広告	1,600,000	「YouTube」へ動画広告を表示	8月9日から8月22日	
	その他のWEB広告	17,000,000	状況に応じてその他のWEB広告を実施	8月9日から8月22日	
啓発物品・資料	ポケットティッシュ	100,000個			
	ブラカード	34本	区役所窓口での配架や他課のイベント等での配布に使用	8月上旬から8月22日	
	のぼり旗	36本			
	既製の活用	卓上マスクット	約230個	区役所、地区センターなど市民利用施設の窓口を設置	8月上旬から8月22日
		イコットぬいぐるみ (着ぐるみ)	19体	市及び各区に1体	8月上旬から8月22日
	イコットパンチング人形	22体	市及び各区に1~2体	8月上旬から8月22日	



▲ みなとみらい線横浜駅メガセット



▲ デコレンタ



▲ 市営地下鉄車内ポスター



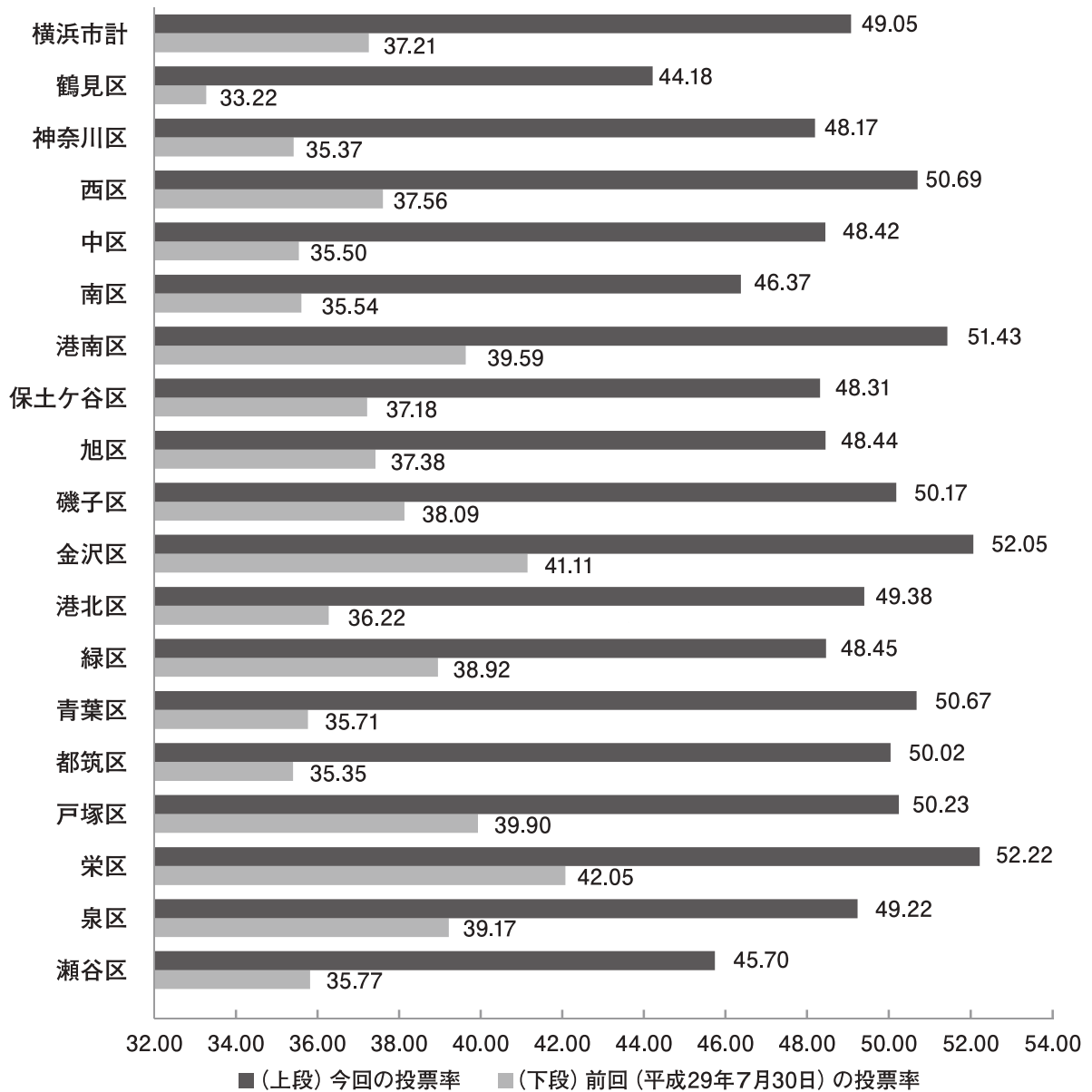
▲ 横断幕 (区役所)



▲ かなch.

横浜市長選挙

<行政区別投票率(%)>

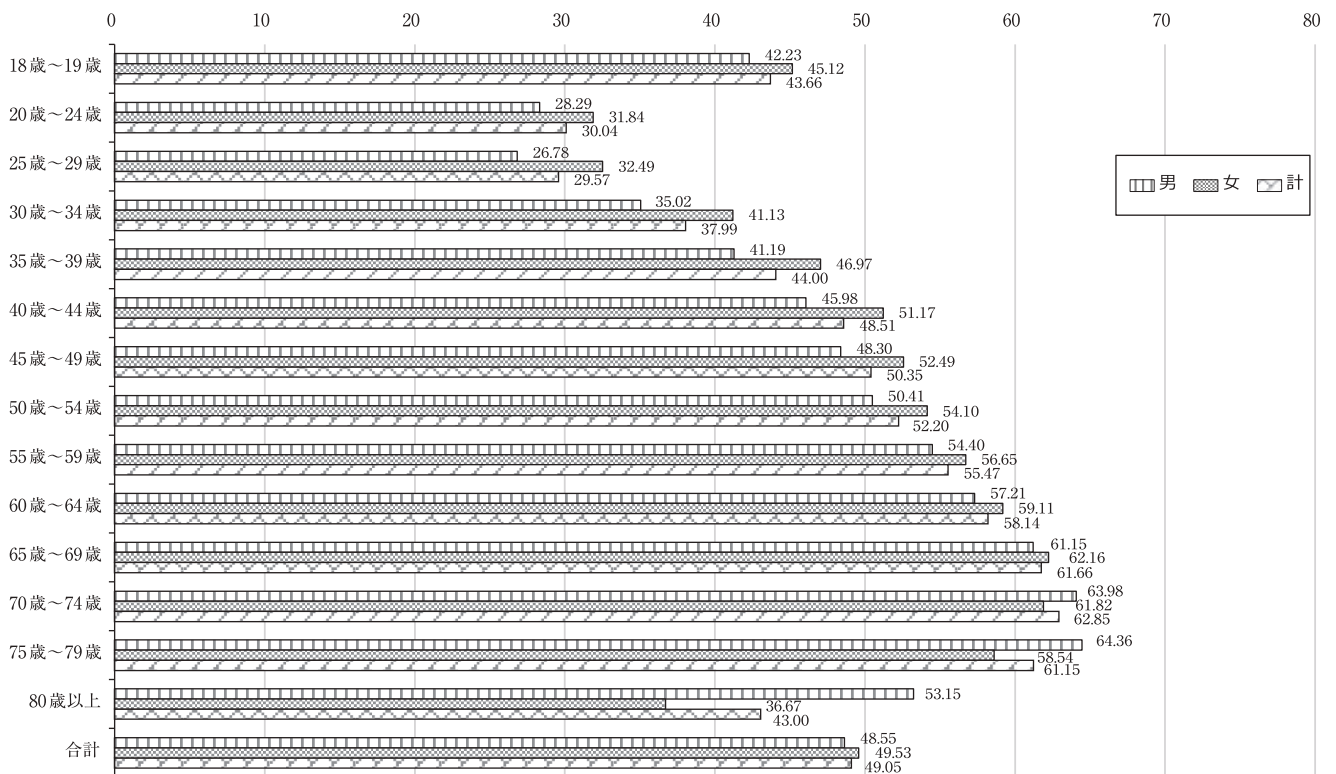


横浜市長選挙

<年代別投票者数・投票率一覧表>

年 齢	当 日 有 権 者 数			投 票 者 数			投 票 率 (%)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
18歳～19歳	34,639	33,797	68,436	14,628	15,250	29,878	42.23	45.12	43.66
20歳～24歳	96,720	94,439	191,159	27,361	30,067	57,428	28.29	31.84	30.04
25歳～29歳	97,901	93,563	191,464	26,215	30,394	56,609	26.78	32.49	29.57
30歳～34歳	97,970	92,795	190,765	34,307	38,164	72,471	35.02	41.13	37.99
35歳～39歳	112,049	106,161	218,210	46,153	49,868	96,021	41.19	46.97	44.00
40歳～44歳	127,160	121,074	248,234	58,466	61,952	120,418	45.98	51.17	48.51
45歳～49歳	156,109	150,557	306,666	75,398	79,021	154,419	48.30	52.49	50.35
50歳～54歳	160,596	150,808	311,404	80,950	81,588	162,538	50.41	54.10	52.20
55歳～59歳	131,334	120,147	251,481	71,441	68,062	139,503	54.40	56.65	55.47
60歳～64歳	104,237	98,721	202,958	59,637	58,353	117,990	57.21	59.11	58.14
65歳～69歳	96,702	97,685	194,387	59,130	60,724	119,854	61.15	62.16	61.66
70歳～74歳	117,703	128,728	246,431	75,302	79,578	154,880	63.98	61.82	62.85
75歳～79歳	81,411	99,881	181,292	52,396	58,467	110,863	64.36	58.54	61.15
80歳以上～	115,518	185,273	300,791	61,395	67,944	129,339	53.15	36.67	43.00
合 計	1,530,049	1,573,629	3,103,678	742,779	779,432	1,522,211	48.55	49.53	49.05

<年代別投票率グラフ>



政治家の寄附は禁止。有権者が求めることも禁止。

政治家が選挙区内の人に、
 お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。
 違反すると、処罰されます。
 また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。

寄附禁止のルールを守って、
 明るい選挙を実現しましょう。



<p>お歳暮やお年賀</p>	<p>入学祝・卒業祝</p>	<p>病気見舞い</p>	<p>秘書等が代理で出席する場合の結婚祝</p>
<p>秘書等が代理で出席する場合の葬式の香典</p>	<p>葬式の花輪・供花</p>	<p>落成式・開店祝の花輪</p>	<p>町内会の集会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差入</p>
<p>お祭りへの寄附や差入</p>	<p>地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差入</p>	<p>贈らない! 求めない! 受け取らない!</p>	

みんなで徹底しよう「三ない運動」

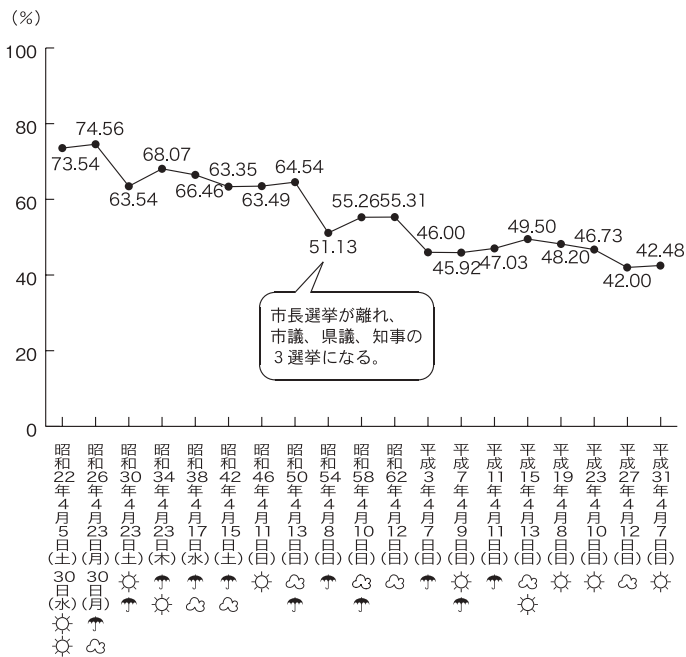


各選挙における投票率の推移

つぎの4つのグラフは、各選挙における横浜市の投票率のグラフです。
全国的に低下傾向にある投票率は、横浜市も例外ではありません。
今後も有権者の積極的な投票参加を推進していきましょう。

統一地方選挙

(数値は市議会選挙のもの)



注) 第一回統一地方選挙

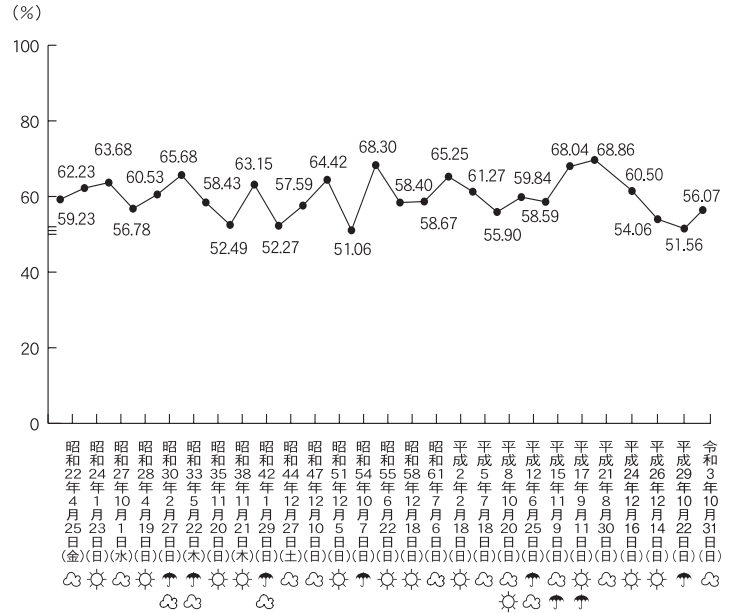
昭和22年4月5日 市長・県知事選挙
4月30日 市議会・県議会選挙

第二回統一地方選挙

昭和26年4月23日 市議会・市長選挙
4月30日 県議会・県知事選挙

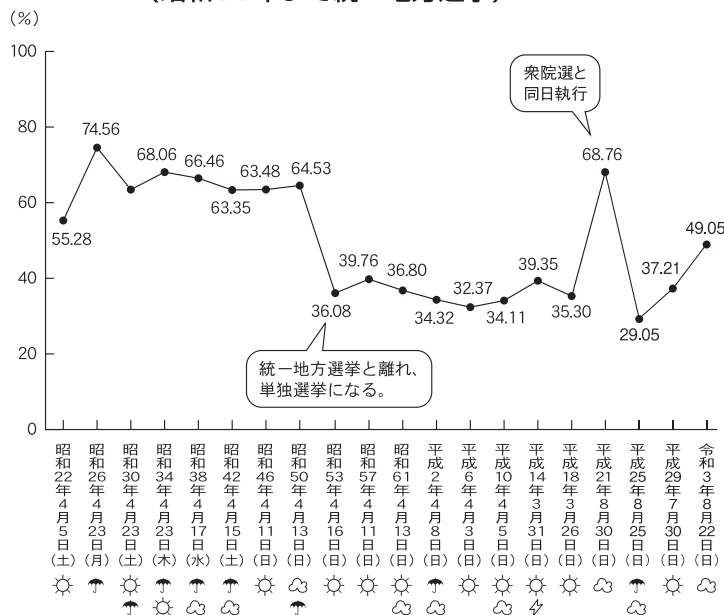
衆議院選挙

(平成8年以降の数値は小選挙区のもの)



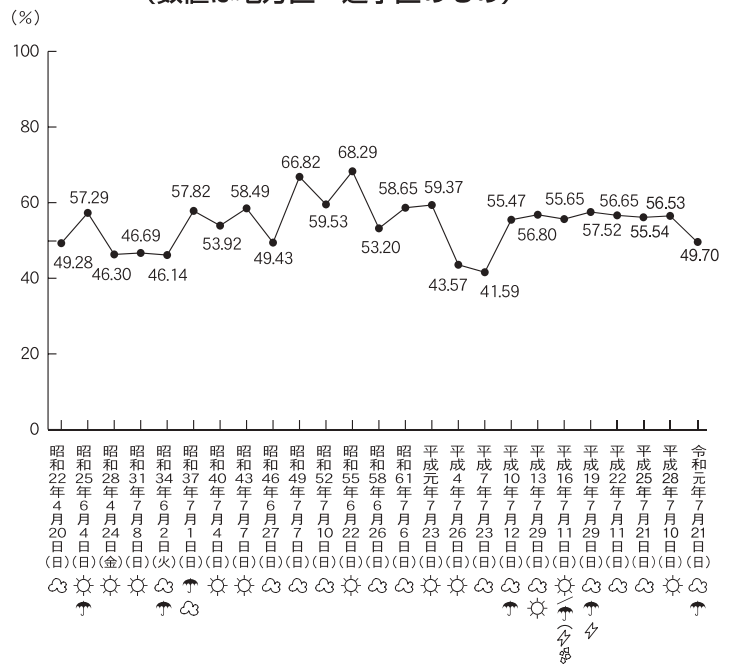
市長選挙

(昭和50年まで統一地方選挙)



参議院選挙

(数値は地方区・選挙区のもの)



◀【緑区】啓発チラシ入りマスク



▶【栄区】せんきょフォーラム



▶【瀬谷区】明るく選挙ことも映画会



▶【泉区】市管地下鉄立馬駅付近に設置した期日前投票良用機前幕



▶【南区】せんきょフォーラム



▶【都筑区】「都筑区応援day」にIcotto Jr.出演



▶【青葉区】親子で描こう！選挙啓発ポスター展



▶【保土ヶ谷区】18歳の方へ送付したクリーニングカード



▶【西区】ラッピングカー（横浜市長選挙啓発用）



▶【戸塚区】配信中の選挙啓発動画

